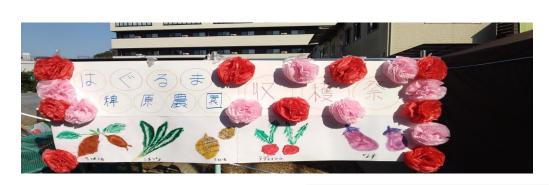


### 収穫祭 みらぼマルシェ





2年余りイベントの中止や縮小が続いていましたが、少しずつ元の生活に戻ろうとする社会的な流れを受けて、バザーやイベントが多くなりました。はぐるまでも「稗原農園収穫祭」

「みらぼマルシェ」を開催し、仲間も地域の方たちも楽しい1日を過ごしました。11/3 農園は晴天: 11/23 みらぼは雨それぞれの特徴を生かしたイベントができたと思います。

地域団体の老若男女が歌い、

踊り、奏でるステ

-ジ発表、応援下さる方々の飲食ブース、

何よ

協力をいただき、仲間たちの太鼓演奏はじめ、

コロナ禍前には地域や関係者の多くのご

はぐるま稗原農園で地域交流を行いま

はありましたが、久しぶりに

「収穫祭」との名

コロナ感染状況がいつも頭をかすめる中で

地域イベントが一度に再開した十月を経

今年も秋がやってきました。とても暑かった

### No.117

2022年11月25日

社会福祉法人はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区 菅馬場 1-19-24 ℡ 044-946-1308

野菜をとる。焼き芋を食べ、走りまわって、飲み物(カレー・パン・はーぶこーでいある)、ものつくり製品(縫製品・染製品)の販売を行ものつくり製品(縫製品・染製品)の販売を行いました。さつまいも・里芋・大根の収穫体験では、子供たちの楽しそうな大きな声が農園中に響いていました。土を掘りどろんこになって、野菜をとる。焼き芋を食べ、走りまわって、

流を果たしてきました。

することで、宮前区水沢(稗原地区)地域で交

の方々に楽しんでもらえる場を作ってきまし

た。また、農園以外のはぐるま仲間仕事も紹介

体験、子供たちのどろんこ広場などなど、地り楽しみにしてくれていたさつまいもの収

そして、とても大切なことを収穫祭の直前に 稗原小学校の先生から伺いました。 ま収穫祭の原点をみたような気になりました。 んの仲間たちが楽しそうに一緒にいる。はぐる 親子一緒に笑っている。そんな空間にたくさ

も嬉しかったです。ありがとうございます。」 たちは、いつも挨拶をしてくれます。』私はとて とたちが頑張っている畑があります。そこの人 のことを書いたんです。『近くに障害のあるひ こちらこそ、いつもありがとうございます。 「学校の作文で、2年生の子がはぐるまさん (はぐるま稗原農園 新井多佳夫



収穫した柿は即、みらぼのマルシェで 格安で販売しました。 みらぼから数分の所に柿畑があります。

(11月25日現在 収穫終了)

# 下布田小学校4年生

### 総合学習



再会しました。みらぼの中を見学し、 仲間の仕事のようすも見て回りました。 下布田小学校の交流も三年ぶりに 以下、掲載いたします。 もらえることがあったんだなとうれ 文を書いてくれました。色々と感じて しく思い、学校に許可をいただいて、 後日、当日参加した生徒さんが感想

> まちに住む人との出会いを通して 下布田小学校4年0Nさん

【店員さんのやさしさ】

「いらっしゃいませ。」

この日も、深くお辞ぎをして、笑顔でむかえてくれた「はぐカフ です。総合の時間に、みんなで見学に行き、またすぐにでも行っ から近い、二ヶ領用水沿いに新しくうつってきた、はぐるまの会 てみたくなり、友達をさそいました。 立っている私たちを案内してくれました。ここは、私たちの学校 ェ」の定員さん。お客さんがいっぱいで、勇気がなく、入り口に

った染物。かべには、一人ひとりの目標や手順がぎっしりはられ ていました。そして自分の分たんにせきにんをもってしんけんに おい。マリーゴールドやあいの葉を使って、きれいなもようを作 お仕事をされていました。 んを作る音、材料をきちんと量って焼き上げるパンやお菓子のに の作業所です。ダダダダダダッ、ミシンをまっすぐにかけ、布き はぐるまの会は、知的に障害のある方が、力いっぱい働くため

できるように変えていく場所なんです」とお話されている通りだ なと思いました。 所長さんが、「ここは、できないことを仲間で力を合わせて、

客さんのところに持って行ってしまうことが3回あったけど、あ かしていました。それから、ケーキセットを注文すると、他のお わてず、「ごめんなさい」と心をこめて言ってくれました わたし、がカフェに行った時も、大人数で一つのテーブルを動

をもらいました。わたしが、わたしでできることを考えたいと じように、失敗してしまったときは、あやまるし、うれしい時に そんな、力いっぱい働いている姿から、わたしは、たくさん元気 思える二日間でした。 は、喜ぶのだと、当たり前に生活されているのがわかりました。 わたしは障害があるとか、ないとか関係なく、わたしたちと同

# 県との意見交換会に参加

# ~ 共に暮らせる社会をめざして~

### 【背景として】

分析を求める要望書を提出した。 別権を表してそのような風土が醸成されたのかのとうしてそのような風土が醸成されたのかのとうしてそのような風土がで、別月に結果報告書のでは、引き続き調査を続けることとともに、が25世をあった。きょうされん神奈川支部の当事者が25世あった。きょうされん神奈川支部の当事者が25世あった。きょうされん神奈川支部の当事者が25世あった。きょうされん神奈川支部の当事者が25世あった。きょうされん神奈川支部の出門にが表している。

② 神奈川県議会は「当事者目線の障がい福祉推進条の 神奈川県議会は「当事者目線の障がい福祉推進条の」を議決。10月21日に交付、令和5年というからには、当事者にわかりやすいものでないと意味がないという指摘を受け、条例の「みんなで読める版」が作成された。 1月21日に交付、令和5年 にの分かりやすい版が、実際に当事者にとって理 この分かりやすい版が、実際に当事者にとって理 にの分かりやすい版が、実際に当事者にとって理 間き取りを行っている。

交換会に参加しました。はぐるまから3名の仲間が県庁に出向き、意見11月16日、きょうされん当事者部会として、

から施錠されていた人たちの5人は全く施錠 次第、 長から全員に謝罪をしたということでしたが、 謝罪をしたのか、という質問がありました。 しました。仲間からは、虐待をされた仲間には をより人らしくさせるんだということを実感 とを聞いて、あらためて、働くということが人 なしで暮らせているということでした。そのこ 強度行動障害といわれ、多くの時間を居室の外 題だった園庭も自分たちで草刈りをし、 業を取り入れて活動していること。草が伸び放 動がほとんどなく、部屋に閉じこもっていた人 向し改善にあたっていること。そもそも日中活 きました。民間の事業所からアドバイザーが出 同時に中井やまゆり園の現状を聞くことがで 本人に誤ってほしいという仲間の率直な意見 きるようにしていること。その結果、 たちも、手帳の解体やペンの組み立てなどの作 要望書に対しては、調査結果が明らかになり 必ず報告します、と返答を受けました。 7名いた 運動で

もとめられ、一つ一つの文章はわかりやすくなについて、仲間にとってわかりやすいか意見をもう一点、当事者目線の障がい福祉推進条例

の返答を受けました。 約版をパンフレットのような形で作りたいとつかめないという意見が多く出ました。これにつかめないという意見が多く出ました。これにっているが、全27条のボリュームは多く、

いるのかもしれません。仲間の言葉を知ってもらうだけでも進歩していう県の担当者のお話でしたので、シンプルにこのように当事者と話す機会は多くないと





中

野島

中

学

校

吹

### みらぼマルシェ 雨の1日

1日の様子をお伝えします来店いただきました。

みらぼで行う初めてのイベントは

## 吹画会 「星に語りて」

望がありました。(検討中) 守られる人権と、一刻を争う人命 ず安否確認もできない。 残されている方たちがい 消えた」 鑑賞できなかったご家族からは 理解できる場面があったようです。 苦悩と打開策を見出していく物語 救助とのはざまで支援者たちの は個人情報保護を理由に開示され どこにだれがいるのか、正 被災地の避難所から 上映する機会を作ってほしいと要 201年3月11 2時間の上演でしたが、 障害のある人と支援者の物 原発避難区域にも、 日 「障害者が 東日本大震 法によって 仲間も 確な情報 ŋ

『『恋のバカンス アンコール』風になりたい』 □ さんぽ 『わらべ歌』 『昔話

演奏をみんなで楽しみました。
「大学・のであるので、他間はもちろん大好きを拍子や体を動かし音を十分に楽しんでいました。
で地区自治会の方・民生委員さんでいまりない。
は、追力がありノリノリの音色を

いただけたようです。

じかに見ることができ、この機会を大変喜んで

生徒さんのご家族には、お子さんの活動



### 傘をさしての ご来店ありがとうございました

たくさんの寄贈品ありがとうございました。 また、当日お手伝い大変助かりました。

フリーマーケットは外のテントで行うことがで

きず、染乃家に陳列しました。まだ品物が残っいるので、次の機会を計画いたします。





お子さんを連れて ご家族でご来店 ホクホクの焼き芋をほおばって、楽しんで くれたかな?